

ほおの木国語プランR1

福島県喜多方市立第二小学校

問いを見出し、論理的に考え、学び合いを通して解決する子ども

<国語における子ども一人一人の学びの高まり>

- 「問い」を持って文章と向き合う子ども
- 言語を手がかりとしながら論理的に考える子ども
- 学習を振り返り、学びの高まりを実感する子ども

<学び合いを創る授業づくりの視点>

【研究の視点1】 問いづくり	【研究の視点2】 ともに思考する場づくり	【研究の視点3】 学び合いの価値付け
① 身に付けさせたい力を明確にした単元構成	① 教材のイメージ化を図る工夫	① 言語活動における振り返り
② 教材との関わりを深める問いづくり	② 学び合いの場づくりの工夫	② 学習を振り返る場の工夫
③ 「活用」場面（言語活動）を意識した問いづくり	③ 相手意識、目的意識を持った言語活動の工夫	③ 観点を明確にした振り返り
	④ 思考の流れが分かる板書の工夫	

学び合いを支える大切にしたい言葉

- | | | |
|--------------|---|---|
| ○ 比較して考える | 「～さんと同じで(違って)」「前の段落と比べて」「自分だったら～」 | 等 |
| ○ 関連させて考える | 「～さんの考えに付け足して」「前の段落では～だった」 | 等 |
| ○ 理由(根拠)を考える | 「理由は」「～と書いてある」 | 等 |
| ○ 共感する | 「～の気持ちが分かる」「作者(筆者)の考えはすごい」「～さんの意見を聞いて～と考えた」 | 等 |

<育成したい思考力・判断力・表現力>

- ◇ 言語を手がかりとしながら論理的に思考し、判断し、表現する力
「並べる」「比べる」「分ける」「関係づける」「統合する」「条件付ける」など

<子どもの実態と教師の願い>

- ・ 日常的に読書に取り組んでいる児童については個人差が大きい。さらに目的を持った読書に進んで取り、読解力の素地を養いたい。
- ・ 自分の思いや考えを発表することができるようになってきた。友達の考えと比べたり共感したりする学び合いをさらに深めたい。
- ・ 説明的文章や文学的文章では、文章から情報を取り出し、自分の考えを持ち、交流することを通して、思考力・判断力・表現力を育みたい。